

植物学者「郡場寛」学んで

弘前 弘前大学農学部創設70周年を記念し、弘前市の弘前大学資料館で第2代学長を務め農学部創設に貢献した植物学者郡場寛(1882～1957年)の足跡を振り返る企画展が開かれて
いる。12月19日まで。
(工藤貴光)

弘大農学部創設70周年 資料館で企画展



郡場は青森市出身。県第一尋常中学校(弘前市)、旧制第二高等学校(仙台市)、東京帝国大学を卒業後、京都帝国大学教授に。戦時中は陸軍高官として日本占領下のシンガポール植物園の園長

として資料を守ったほか、植物園で研究していた交戦国イギリスの科学者E・J・H・コーナー(1906～96年)を保護したことも知られる。

会場には、敗戦時に郡場がコーナーらに託したとされる「友情の論文」や園内の樹種を記した郡場のノート、コーナーが英科学誌ネイチャーに寄せた郡場ら日本人科学者を好意的に紹介した英文が展示されている。そのほか、郡場が趣味で愛用したとされるパイオリンが並べられ、郡場の実像に多角的に迫れる内容だ。

展示を担当した弘大農学生命科学部付属白神自然環境研究センターの中村剛之教授は「科学には人種も国境も関係ない。展示に触れ学問や教育に対する考え方を学んでほしい」と話した。

企画展は午前10時から午後4時まで(入館は午後3時半まで)。日曜、祝日は休館。入場無料。

【写真上】弘大農学部の創設に貢献した第2代学長郡場寛ゆかりの資料を集めた企画展
【同下】郡場がイギリス人植物学者に託し、戦後出版された「友情の論文」



※この記事は東奥日報社提供です。

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

[問い合わせ先]

弘前大学資料館 jm3432@hirosaki-u.ac.jp